

マイスター



通信

chance ! challenge !! change!!!

寒河江市立
寒河江中部小学校
マイスター通信
No. 1
令和8年4月13日
文責：軽部 隆一郎

微力ですが、先生方のプラスになれるように、頑張ります！

今年度、県教委の事業である「教科担任マイスター制度」で、教科担任マイスターさせていただきますことになりました。

この制度の目的は・・・

- ①算数の教科担任を実施すること
- ②ICTの効果的な活用方法等も加味した授業を他校の教員や初任者などに公開し、県内教諭の算数の指導力向上を図ること

マイスターの業務は・・・

- ①ICTを活用した教材開発及び効果的な活用による授業実践の推進
- ②県内教諭への授業公開
- ③授業改善に向けた他校からの相談等に対する助言
- ④授業改善に向けた取組み等の情報発信（県内の学校等）

これらを受け、現時点で私が本校で行う業務は・・・

- ①5年1組（教科担任をする他のクラス）の授業を見ていただくこと
- ②すべての学年の必要とさせていただきます学級にT2としてお邪魔し、一緒に子どもたちの支援をさせていただくこと
- ③授業づくりの相談 など

【現時点で自身の背骨になっているもの】

- ①「子ども」であることを大事にすること（子どもの権利を含む）：大学
- ②ユニバーサルデザイン（UD）の視点を取り入れた授業づくり：南沼原小（6年間）
- ③「子どもとは」「学ぶこととは」「子どもの問題解決」：附属小（4年間）
- ④「生徒指導の実践上の視点」を取り入れた授業改善：県教育局（7年間）

【子どもの姿から】



- ・子ども対教師の一問一答形式が多くなるように、グループ形式で多くの子どもたちが発言できる機会を確保する。(生徒指導)
- ・音声言語でのやりとりが苦手な子どもたちのために、ホワイトボードで視覚化する。(UD)



普段、先生方が行っていること（無意識も含め）を位置づけ、整理し、意図的に授業に取り入れていくことが大事だと思っています。

【自分の気になりどころ】

- ・ICTの発展を筆頭に、目まぐるしく変化する社会、それに伴って変わる学校現場、流行を取り入れつつ、不易の部分を変えて大切にしていきたいです。(大村はま「教えるということ」・坪田耕三「算数的思考法」)

共に学び続ける教師でありたいと思います！よろしくお願いします！